

薬剤師数動向に基づく地域の薬剤師ニーズの検討

さ の ち あき¹⁾ ふ の よし ひと の しま よし あき²⁾
 佐 野 千 晶¹⁾ 布 野 慶 人¹⁾ 野 島 慶 明²⁾
 なか はた のり こ¹⁾ よし おか こ たに ぐち えい さく¹⁾
 中 畑 典 子¹⁾ 吉 岡 みち子¹⁾ 谷 口 栄 作¹⁾

キーワード：地域医療，薬剤師，人材確保，需要予測

要 旨

【目的】全国及び島根県における薬剤師数の動向を解析し，薬剤師ニーズについて検討する。

【方法】1970年から2014年までの医師・歯科医師・薬剤師調査報告書，医療施設調査・病院報告書，ならびに衛生行政報告書を用いて，薬剤師ニーズに関わる情報を分析した。また，島根県における薬剤師求人の状況については，公共職業安定所の求人数を用いた。

【結果】島根県では，全国と同様に，1970年より2014年まで継続して薬剤師数の増加がみられた。特に，医療施設数が多い圏域での薬剤師数増加が著しかった。また，医療施設薬剤師，薬局薬剤師，衛生行政等の業種別での解析では，1992年以降の薬局薬剤師数の増加は顕著であった。次に島根県の薬剤師ニーズについて求人数をみたところ，2017年において薬局56件，病院13件であった。

【考察】近年の薬剤師数の増加は，地域医療構想における地域包括ケアでの薬局薬剤師ニーズの高まりや病院薬剤師の病棟業務拡大が関係しており，短期的には更なる薬剤師増加が見込まれる。今後は，高齢化，地域の病床減少，在宅医療の強化，多職種連携業務増加といった中長期的なニーズの変化を踏まえ，地域偏在や施設特性に応じた薬剤師確保対策が必要と考えられた。

はじめに

島根県の医療にとって，医師をはじめとする地域の医療従事者の確保は，非常に大きな課題であ

る。以前より，さまざまな対策がとられているものの，島根県の病院では医師，看護師をはじめ，薬剤師についても十分に確保できていない状況にあり，また薬局においても，薬剤師不足は同様な傾向にある。近年，医療施設薬剤師は，きめ細かな薬剤管理や服薬指導，がん分子標的薬等の強力な薬剤の出現，薬剤適正使用等といった高度知識

Chiaki SANO et al.

1) 島根大学医学部地域医療支援学 2) 隠岐病院

連絡先：〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

島根大学医学部地域医療支援学講座